

2024年6月20日

報道関係者各位
プレスリリース

株式会社ヴィッツ
(証券コード:4440)

「Open SDV Initiative」へ参加を表明 ～自動車の未来を支えるAPI策定プロジェクト～

株式会社ヴィッツ(本社:愛知県名古屋市、代表取締役:服部 博行)は、この度、名古屋大学が設立する「Open SDV Initiative(※1)」に参加することを正式に表明いたします。

「Open SDV Initiative」設立

名古屋大学は、「ソフトウェア・デファインド・ビークル(SDV)(※2)」に関心のある企業を招き、「Open SDV Initiative」を設立し、SDVに必要なビークルAPIの策定活動を開始することを発表いたしました。SDVは、ソフトウェアの追加や更新により販売後にも機能を拡張・変更できる特性があり、日系自動車メーカーの競争力向上が期待されています。

経済産業省と国土交通省が本年5月に公表した「モビリティDX戦略(※3)」では、SDV化を進める中で、日系メーカーによる世界シェア3割達成を目標とし、その達成にはビークルAPIの標準化が不可欠とされています。

株式会社ヴィッツの役割

株式会社ヴィッツは、この「Open SDV Initiative」に参画することで、SDVにおけるビークルAPIの策定と標準化に貢献し、自動車業界の技術革新を支える重要な役割を果たしてまいります。私たちは、名古屋大学大学院情報学研究科 附属組込みシステム研究センター クレスコSDV研究室と協力し、迅速かつ確実にビークルAPIの策定を進めてまいります。また、策定されたAPIの実車やシミュレータ上でのテスト実装と評価を行い、その有効性を確認します。

未来の自動車産業への貢献

本活動に参加することで、株式会社ヴィッツはSDVの発展に寄与し、新しい価値創造に向けた取り組みを加速させます。自動車業界における技術革新と競争力強化を目指し、SDV向けのアプリケーション開発・提供を通じて新たな可能性を切り拓いてまいります。

株式会社ヴィッツは、SDVの未来を支えるビークルAPI策定プロジェクト「Open SDV Initiative」に参加することで、自動車業界の未来を共に創造してまいります。今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■参考

※1 「Open SDV Initiative」

名古屋大学 大学院情報学研究科 附属組込みシステム研究センター クレスコ SDV 研究室 より

<https://www.nces.i.nagoya-u.ac.jp/osdvi/>

※2 「ソフトウェア・デファインド・ビークル(SDV)」

ソフトウェアの追加・更新により, 販売後に振舞い／機能を拡張・変更できる自動車。

車両の安全性や操作性等の機能を常に最新にアップデート、追加機能やサービス等を選択し自由にカスタマイズ可能となる。

※3 「モビリティ DX 戦略」

経済産業省 モビリティ DX 戦略・モビリティ DX 検討会より

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/automobile/jido_soko/mobilitydxsenryaku1.pdf

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社ウィッツ

IR 担当窓口: 佐藤・服部(孝) TEL: (052)-218-5018 Mail: ir-kanri@witz-inc.co.jp